

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年4月30日

事業所名 放課後等デイサービス きぼう

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			活動スペースは①81㎡ ②28㎡に分かれており、十分な活動スペースを確保しています。 室内の段差をなくし、移動しやすいようにしている。	
	2	職員の配置数は適切である	○			常勤で保育士2名を配置。児童2~2.5名に対して1名の職員配置をしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			玄関にはスロープを設置。車いす対応のトイレ・手すりを設備している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		その場だけの支援になってしまうことがある。	共通理解を図り、業務改善に努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			29年度から実施し、保護者等の意向を基に業務改善に努めています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			29年度から実施し、保護者に結果を配布し、ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	第三者による外部評価は実施していません。	必要に応じて実施を検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			事業所内研修や外部の研修に参加する機会を設けている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			保護者との面談を実施。活動等の様子からアセスメントを実施し、計画書を作成している。	支援者寄りのニーズにならないように工夫を図る。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		アセスメントシートは法人事業所共通(成人)のものを使用している。	放課後等デイサービスにあったアセスメントシートを作成する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている		○		職員全体で意見の共有ができていない場合もある。	会議を実施し、意見共有をしていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			いろいろな体験や活動ができるように活動内容を検討している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			予定表を掲示し、課題に取り組んでいる。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個々の状況に応じた活動を組み合わせ、支援計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		確認できている日とできていない日がある。	毎日必ず打合せを実施し、支援の内容や役割分担について確認をしていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		送迎に出ている職員以外の職員で情報の共有や課題の共有を行っている。	送迎に出ている職員には、業務日誌・ケース記録・伝達ノート等を活用し情報の共有に努めています。緊急な対応が必要な場合はその日に伝達する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			日報・ケース記録以外に、事故・救急記録、面談記録などをとるようにしている。	検証・改善までできていないので、検証・改善につなげていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			6ヶ月に一度計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			自立支援・創作活動・余暇活動を個別支援、集団支援を行っている。成功体験の積み重ねを重視し、支援にあたっている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者や常勤職員が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	○			学校行事の確認や送迎時間の確認を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている			○	現在、医療的ケアが必要な利用者の受入を行っていない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている			○		今までは情報共有の場がなかった。今後新規 の利用があったときには情報共有に努めてい く。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	○			移行支援会議やサービス事業所に情報の提供を行って います。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている		○		研修会に参加しているが、助言などのアドバイスを活用す るには至っていない。	今後は連携を密にし、助言などのアドバイスを 活用していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある		○		交流の機会を設けていないが、外出先の公園などで地域の 児童と一緒に遊ぶなどの交流する機会はある。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	○			自立支援協議会や放課後等デイサービス事業所連絡会に 参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	○			連絡ノートを活用し、活動の様子や利用者の状況等伝えて いる。また送迎時やお迎え時に直接情報共有を行ってい る。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている			○	保護者に面談は実施しているが、ペアレント・トレーニングの 情報提供もできていない。	ペアレントトレーニングについての研修などを検 討する。	
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	○			契約時に契約書・重要事項説明書の説明している。また事 業所内にも掲示している。年度初めには、職員体制・報酬単 価・利用料について書面でお知らせしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	○			相談があれば対応している。全ての悩みを開けているわけ ではない。	悩みや困りごとと話しやすい雰囲気作りや体制を 整える。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している			○	保護者会等は開催していない。	保護者の意見を聞きながら必要であれば開催 しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している		○		法人の苦情対応マニュアルを作成し、苦情窓口も重要事項 説明書にて説明している。問題が表面化してから対応になっ てしまうことがある。	問題が表面化する前に保護者と情報共有を行 い、迅速かつ適切な対応を行っていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	○			法人の会報は年1回発行している。事業所内の通信を月1 回発行し、ブログを開始して随時情報の発信を行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	○			契約時に個人情報に関する同意書に署名してもらっている。 職員には守秘義務に関する誓約書を書いています。また、 個人の記録や個人情報に係る書類は鍵のかかるロッカーに 保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	○			障害の特性や個々に応じたコミュニケーション方法を行って いる。児童の前で伝えにくい内容は、電話で伝えている。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている		○		法人全体の行事に地域住民に参加する機会があるが、事業 所の行事としては実施していない。		
非常時 等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、職員や保護 者に周知している		○		マニュアル作成しているが、保護者への周知ができていな い。	各マニュアルを保護者に周知する方法を検討し ます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	○			年2回の防災訓練を実施しています。	訓練に参加できていない利用者のいる為、毎 週日に避難訓練計画し実施に努めます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	○			法人の虐待防止マニュアル、行動規範等を配布している。年 1回虐待についてのアンケートを実施し虐待防止に努めてい る。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行 うかについて、組織的に決定し、子どもや保 護者に事前に十分に説明し了解を得た上 で、放課後等デイサービス計画に記載して いる			○	該当する利用者がいない為行っていません。やむを得ず身 体拘束を行う場合の手順については職員に周知に努めてい ます。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師 の指示書に基づく対応がされている			○	該当する利用者がいない為行っていません。	今後は一目でわかるようリストを作成していく。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有している	○			ヒヤリハット・事故報告書を作成している。事業所内で共有で きるよう努めている。		